

第1分科会「職業の問題について、青年の学習と実践活動をどのように進めたらよいか」

助言者 郡山市教育委員会青少年室長

望月敏雄

第2分科会「国際的感覚を養うための青年の学習と実践活動をどのように進めたらよいか」

助言者 県教育庁社会教育課主幹 前川善明

第3分科会「芸術文化活動について、青年の学習と実践活動をどのように進めたらよいか」

助言者 常葉町中央公民館長 山上俊朗

第4分科会「ボランティア活動を推進するために青年の学習と実践活動をどのように進めたらよいか」

助言者 福島市清水公民館長 瓶子保典

④ 報告

ア 昭和58年度福島県青年国内研修報告

イ 昭和58年度学ぶ青年全国集会参加報告

(5) 学ぶ青年全国集会派遣

① 期 日 9月23日(金)～26日(月)

② 会 場 国立中央青年の家

③ 参 加 者

県北 大内和長 岩代町連合青年会

県中 薬谷武彦 古殿町青年学級

県南 大森仁 白河市青春教室

会津 大堀雄一 新鶴村青年会

南会津 中村要次 下郷町青年団連絡協議会

いわき 新妻英正 いわき市青年団体連絡協議会

イ 内 容

- ・ボランティア活動の意義
- ・グループワークとリーダーシップ
- ・ボランティア活動の技術
- ・ボランティア活動の自己評価

ウ 講 師

- ・各地区推進委員会委員
- ・実施地区市町村教育委員会職員
- ・県教育庁社会教課員
- ・県教育庁高等学校教育課員
- ・県教育庁教育事務所員

③ ボランティアのつどい

ア 期日・会場・人員等

12月26日(月) 福島県青少年会館 180名

イ 内 容

- ・講 演
- ・体験発表 川俣町、古殿町、会津高田町、鹿島町 県立湖南高校

・研究協議

ウ 講師・助言者

(社)青少年交友協会理事長 森田勇造

実施地区町教育委員会社会教育主事

県教育庁高等学校教育課指導主事

県教育庁社会教育課社会教育主事

県教育庁教育事務所社会教育主事

10 在学青年社会参加活動育成事業

(1) 趣 旨

在学青年を対象に、地域の諸活動に積極的に参加することを促すため、ボランティア活動に必要な基本的知識、技術に関する研修を行い、地域におけるボランティアグループの結成や実践活動の中心的な役割を担うリーダーの養成に資する。

(2) 実施地区

県北 川俣町、県中 古殿町、会津 会津高田町

相双 鹿島町

(3) 対 象

実施地区内に在住する在学青年

(4) 内 容

① 推進委員会

ア 委員構成

・県推進委員会 9名

・地区推進委員会 各地区8名

イ 会 議 各推進委員会とも年間2回

② ボランティア養成講座

ア 期日・会場・人員等

第3節 成人教育

1 概 要

社会・経済の変化に伴って生活上あるいは職業上の多様な課題を抱える成人の学習要求に応えるため、成人学級・講座、成人学校、成人大学講座、婦人学級・講座、高齢者教室・講座の開設を促進するとともに、学習内容の充実を図ってきた。

特に、成人の学習要求の高度化に対応し、地域格差のない成人教育を振興するため、大学が設置されていない地域に、大学の教官を講師として派遣して、質の高い成人大学移動講座を昨年に引き続いて開設した。

さらに、高齢者の学習機会の拡充を図るため、高齢者教室・講座の開設を促進するとともに、高齢者の社会的役割を高め、社会教育における指導層の充実を図るため、県として高齢者人材活用事業を実施した。

婦人教育については、婦人学級・講座の開設促進に努めるとともに、民間婦人教育指導者の資質の向上と養成確保を図るため、婦人教育指導者研修会を実施した。

P T A及び地域婦人団体等の成人団体の育成に当たっては、P T A指導者研修会(12会場)、婦人団体後継者養成研修会を実施し、団体の民主的な運営と当面する課題に対応する活動の助長に努めるとともに、指導者の資質の向上に努めた。

2 P T A指導者研修会

(1) 趣 旨

小・中・高校のP T Aの指導者を対象に、P T A本来の

管内	市町村名	研修会場	期 日	人 員
県北	川俣町	郡山少年自然の家	8.17～19	30名
県中	古殿町	〃	8.5～7	30名
会津	会津高田町	会津少年自然の家	8.2～4	30名
相双	鹿島町	海浜青年の家	8.9～11	30名